（様式3-1）

**自己評価表（シチュエーション・ベースド）**

**氏名**

以下の各項目に対し、0～5点で評価してください。「工夫した点・改善が必要な点」あれば、右欄に記載してください。（なければ空欄で構いません）記載に当たっては倫理的配慮を行い、個人が特定されないようにお願いします。

**【採点基準】**

**５：とてもよい　４：よい　３：可　２：少し不十分　1：努力を要する　　０：全くできていない**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 項目 | 点数 | 工夫した点・改善が必要な点 |
| **【シナリオデザイン】** |
| １ | 目標は具体的で測定可能であった。 |  |  |
| ２ | 目標は、達成可能で現実的であった。 |  |
| ３ | 目標は、時間内で達成できるものであった。 |  |
| ４ | 事例、状況は、学習目標を達成するために適切であった。 |  |
| ５ | 選択したモダリティー（シミュレータ・模擬患者・VR・ハイブリットなど）は適切であった。 |  |
| ６ | 環境・患者・医療機器などは、学習目標を達成するために適切な忠実度であった。 |  |
| ７ | 学習者の能力向上に役立つ準備教材や資料を提供した |  |
| 小計 | /35 |
| **【プレ・ブリーフィング】** |
| ８ | SBEの詳細と学習目標について説明し学習者に確認した。 |  |  |
| ９ | 患者状況や背景について、説明し、学習者に確認した。 |  |
| 10 | シミュレーションの環境とモダリティー、使用を想定するすべての器材について説明し、必要であれば、実際に操作などしてもらった。 |  |
| 11 | シミュレーションでの役割（実施者・観察者、もしくは他の役割など）をわかりやすく説明し、確認した。 |  |
| 12 | （必要に応じて）シミュレーション中に関与する人たちとかかわる方法を説明した。 |  |
| 小計 | /25 |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 項目 | 点数 | 工夫した点・改善が必要な点 |
| **【シミュレーションセッション】** |
| 13 | シミュレーション中の「キュー」や「プロンプティング」は適切なタイミングで、伝えていた。 |  |  |
| 14 | シミュレーション中、学習者の心理的忠実度が保たれるような支援を行っていた。 |  |
| 15 | シミュレーションの時間は妥当であった |  |
| 16 | シミュレーションの終了、中断、中止が明確に指示できた。 |  |
| **【デブリーフィング】** |
| 17 | 安全でリラックスした環境で実施した（可能であればシミュレーションを行った部屋と別の場所）。 |  |  |
| 18 | 学習者同士のディスカッションとなるようサポートした。 |  |
| 19 | シミュレーションセッション中の経験を教材として、計画された目標に沿って、デブリーフィングガイドに準じて進行した。 |  |
| 20 | 資料などを有効に用いて、学習者が得た学びを、実際ではどのように応用すればよいかの概念化を助けた。 |  |
| 小計 | /40 |  |
| **合計** | /100 |  |

※この書類は、認定・更新制度以外の目的では使用いたしません。（日本看護シミュレーションラーニング学会）

【参考】

採点の目安

* ５：とてもよい

とても優れていて、他の人からのお手本となる。他にはない、よい工夫ができている

* ４：よい

流れや内容がスムーズである。

* ３：可

流れや必要な項目はおさえてあるが、ぎこちない。

* ２：少し不十分

流れや必要な項目が不足しているが、シミュレーション教育が実践できている。アドバイスにより容易に改善の可能性あり。

* １：努力を要する

流れや必要な項目への理解が不足している。シミュレーション教育の実践に向けて、かなりのアドバイス、改善が必要である。

* ０：全くできていない

シミュレーション教育についての理解ができていない。初学者として再度、スタンダードから学習が必要。